

(2) 県主催の研修講座とその内容

① 昭和46年度産業教育現代化講習会

ア. 目的

産業教育に関する現状を分析し、将来の方向について研究協議を行ない、関係学科、科目担当教員の指導力の向上に資する。

イ. 期 日

農業、工業、家庭 12月1日(休)～2日(休)

商業 11月30日(火)～12月1日(休)

ウ. 研究主題 「学習指導法の改善」

エ. 会場・参加者

部 会	会 場	参加者数
農 業	磐城農業高校	23名
工 業	勿来工業高校	21名
商 業	郡山商業高校	25名
家 庭	石川高等学校	40名
		計 109名

オ. 講師・助言者、演題

(農業・工業) 福島大学教育学部 教授 工藤 正悟
(商業) 郡山女子短期大学 教授 長谷川寿郎
(家庭) 福島大学教育学部 教授 高橋キヨ子
各教科関係担当指導主事 4名

② 昭和46年度産業教育実習女子研修会

ア. 目的

産業教育の充実を期するため、学習指導および生徒指導等の研修を行ない、実習助手(農業、工業)としての資質の向上を図る。

イ. 期日、会場

11月9日(火)～10日(休) 会津農林高校

11月24日(休)～25日(休) 郡山工業高校

ウ. 参加者

農 業	35名
工 業	47名

エ. 講師・助言者、演題

須賀川市教育委員会教育長 渡 辺 春 三
(実習助手の勤務態様について)

関係 指導主事

オ. 研究協議題

「学習指導要領改訂に基づく実験・実習の指導にあたりどのような配慮が必要か」

2. 文部省教育課程研究指定校(農業・家庭)

① 趣 旨

高等学校における職業教育の改善充実をはかるため研究指定校を設け、調査研究を委嘱する。

② 研究期間

昭和46年度～昭和47年度 2カ年

③ 指定校・研究主題

(農業) 磐城農業高等学校
主題 都市近郊地帯における農業高校の教育課程の編成について
(家庭) 福島西女子高等学校
主題 家庭一般における消費者教育の指導について

て。

④ 研究内容

第一年度は、主として実態調査を中心に実施し、研究計画を立案した。

第8節 定時制・通信制教育

定時制・通信制の生徒は、逐年減少する傾向にあるが、そこで学ぶ必要のある勤労青少年のために、生徒の実態に応じた教育内容・指導方法を「くふう」しなければならない。

そのため、次の点に重点をおいて、担当教員の指導力を高める努力をした。

- 生徒の実態をふまえた学習指導を進めるには、どうすればよいか。
- 指導内容の精選・構造化を図るには、どうすればよいか。
- 生徒指導の効果をあげるには、どうすればよいか。
- 適切な教育課程を編成し、機能的な管理、運営を図るには、どうすればよいか。

1. 昭和46年度高等学校定時制・通信制教育研修会

(1) 目的

定時制・通信制の教育の諸問題について研究協議を行ない、担当教員の資質の向上をめざし、授業の改善と充実を図る。

(2) 期 日

昭和46年11月17日～19日

(3) 会 場

福島県立福島中央高等学校

(4) 研究協議

「定時制・通信制教育における諸問題について」

助言者 高等学校教育課指導主事 小松原 格

(5) 分科会研究協議

① 第1分科会 教育課程

「改訂学習指導要領による教育課程の編成について」

助言者 高等学校教育課指導主事 檜 村 五 郎

② 第2分科会 生徒指導

「○問題を持つ生徒に対する個別指導をどのように進めたらよいか。

○生徒指導上、職場と学校との連携を図るにはどうしたらよいか。

○定通における生徒指導計画をどのように整備すればよいか。」

助言者 高等学校教育課指導主事 成 田 政 栄

③ 第3分科会 理 科

「理科教育の現代化について」

助言者 高等学校教育課指導主事 大 槻 進

④ 第4分科会 英 語

「定時制・通信制高等学校の実態からみて、改訂学習指導要領・外国語の趣旨を生かすには、どのような指導計画を立てればよいか。」

助言者 高等学校教育課指導主事 早 川 俊 一